

## 地域おこし 協力隊だより

第9回

うがいしげひさ  
鵜飼 成久



地域おこし協力隊の鵜飼です。着任から一年が過ぎ、ようやく車の運転にも慣れてきました。1月は雪が降り慌ててスタッドレスタイヤに履き替えました。下妻も雪が降るんですね。

下妻の魅力を発信するWEBサイト「しもつまっぷ」の取材を通じて、顔見知りの事業者さんが増えてきました。みなさん快く取材に応じてくださり、楽しく活動させていただいています。写真で抱えている素敵な提灯は「山本ちょうちん店」さんに作っていただきました。

埼玉に住んでいる時には、仕事を通じて出会った方とは、仕事以外の話はしないのがあたりまえでした。それが下妻では、仕事と全く関係のない話や、プライベートな話をしてくださる方が多く驚きました。これまで経験したことのない、人と人の距離の近さが新鮮で心地良く感じます。

下記の写真は、活動の中で撮影したものになります。取材や商品撮影以外にも、市内を散策し風景の撮影も行っています。引き続き、下妻の魅力を伝えるための活動をしていきたいと思えます。

### ■しもつまっぷ

URL <https://www.shimotsumap.com/>

### ■メールアドレス

ugai.shimotsuma@gmail.com



夕暮れのそば畑（下妻市筑波島道の駅付近）

企画課 ☎43-2113 FAX43-1960

## 「下妻プロジェクト」全体発表会を開催

下妻第二高等学校3年生の取り組み 1月21日

下妻第二高等学校の3年生は、昨年10月「総合的な探求の時間」を活用し、地方創生の観点から市の活性化に関する研究を行ってきました。今回の全体発表会では、菊池市長や市職員を前に、事前の選考会を勝ち抜いた7グループの19人がそれぞれの提案内容についてプレゼンテーションを行いました。

発表のテーマは、「子育てしやすい住みやすい下妻市」「グランピングでみんなhappy」「みんなにやさしい街づくり」「映像で魅せる下妻の世界」「ドローンのある生活」「砂沼の自然を守ろう」「幼老複合施設の整備」などで、若者世代の心に響くような発想の提案となっていました。菊池市長は「若い方々の提言は、今後のまちづくりの参考になりました」と話していました。



発表する下妻二高生（映像で魅せる下妻の世界）

## シルバー人材センター会員による 奉仕作業

12月28日

シルバー人材センターでは、地域に密着した組織として、市民の皆さんに更なるご理解を得ていただくため、毎年年末にボランティア活動を実施しています。当日は会員約40人が参加し、総合体育館、中央公民館、多賀谷城跡公園などでごみや落ち葉拾いなどの清掃作業を約1時間行い、まちの環境美化に汗を流しました。



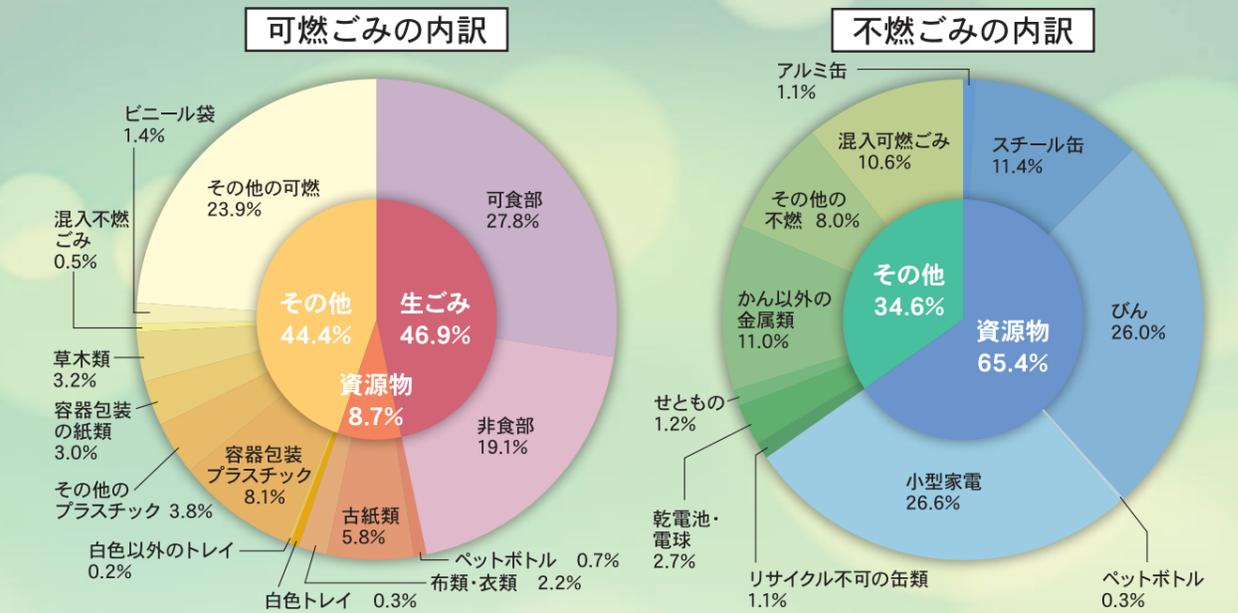
多賀谷城跡公園で作業する会員の皆さん

## ごみ組成調査の結果から見てきたもの

# ごみの分別・リサイクルにご協力を

市では、毎年1回、ごみの組成調査を実施しています。この調査は、今後の基礎資料を得ることを目的に、市内のごみ集積所を無作為に抽出し、家庭からのごみがどの程度分別されているかを分析するものです。下のグラフは、令和3年12月に実施した調査結果をまとめたものです。

生活環境課 ☎43-8289 FAX44-7833



### ■燃焼ごみ全体の約3割が食品ロス

今回の調査では、燃焼ごみにおいて生ごみが全体の46.9%排出されており、例年よりも多い結果となりました。そのうちの27.8%が本来食べられるはずのもの「食品ロス」でした。また、リサイクル可能な資源ごみの混入割合は「燃焼ごみ」では全体の8.7%、「不燃ごみ」では全体の65.4%となっており、多くのリサイ

クル資源が含まれていました。資源をごみとして捨ててしまえば、焼却・埋め立て処分となってしまいます。資源として排出することで、市指定ごみ袋を必要とする家庭ごみを減らすことができます。また、地球資源・地球環境の保全につながります。持続可能な社会づくりに、ご理解とご協力をお願いします。

## 令和3年度3R促進ポスターコンクール入賞作品の紹介

環境省と3R活動推進フォーラムが主催する令和3年度3R促進ポスターコンクールは、6月1日から小学生低学年の部、小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の4部門で公募が行われ、9月10日までに全国から合計6,621点の応募がありました。本市では、2人の児童が入賞しました。



■優秀賞 大形小学校2年 杉山 菜奈さん



■佳作 騰波ノ江小学校1年 岩本 泰地さん

